

特別企画: 第7回大阪府下メインバンク調査

三菱東京 UFJ が4年連続トップ、2地区4業種で首位 ～上位安定も業種による社数増減鮮明に～

はじめに

9月に大阪を地盤とする大正銀行と四国に本社を置くトモニホールディングスが2016年4月の経営統合にむけて基本合意契約を締結した。11月北関東に基盤を持つ常陽銀行と足利ホールディングスも2016年10月の経営統合を発表。東京TYフィナンシャルグループ（東京都民銀行・八千代銀行）も新銀行東京を迎え入れる予定となっており、地方銀行の再編がここに来て急ピッチで進んでいる。これらの金融機関は地元中小企業を支えているだけに、その影響や更なる再編への注目度は高い。メインバンクと企業の関係性は大きな分岐点を迎えている。

帝国データバンク大阪支社では、2015年10月末時点の企業概要ファイル「COSMOS 2」に収録されている大阪府下企業（101,393社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。同調査は2014年12月に続き7回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した

調査結果（要旨）

1. 大阪府下メインバンクは「三菱東京 UFJ 銀行」が4回連続でトップ、「三井住友銀行」が2位。上位に順位の大きな変動は見られなかったものの、「近畿大阪銀行」「北おおさか信金」がシェアを拡大した。
2. 地域別では「三菱東京 UFJ 銀行」が2地区、「三井住友銀行」が2地区で首位。大阪北地区では、トモニホールディングスと経営統合を決めた「大正銀行」がランクイン。各地区とも順位に大きな変動はないものの、地域金融機関が存在感を見せた。
3. 業種別では、「三菱東京 UFJ 銀行」が小売業首位となり初の4業種トップ。「三井住友銀行」は3業種でトップとなった。建設業や不動産業ではトップ10の金融機関すべてで社数が増加する一方、製造業では社数を減らす金融機関が多く、業種間で社数増減が鮮明となった。

1. 三菱東京UFJが4年連続首位 リそな、北おおさがシェア伸ばす

大阪府下のメインバンク企業数は、「三菱東京UFJ銀行」が18,849社（前回は155社増）、構成比は18.6%（前回は0.1ポイント減）で、4回連続で首位となった。2位は「三井住友銀行」の18,702社（前回は109社増）で構成比18.4%（同0.2ポイント減）、3位は「りそな銀行」の11,601社（前回は221社増）で構成比11.4%（同横ばい）。「みずほ銀行」は6位で、4,918社（前回は6社増）で構成比4.9%（同横ばい）となり、全行ともシェアを伸ばすには至らなかった。

地銀では4位に「近畿大阪銀行」が7,457社（構成比7.4%）でシェアを上げた。「池田泉州銀行」は4,749社で7位を堅持。また、「関西アーバン銀行」も2,825社で10位。信金では、「大阪シティ信金」が6,407社（構成比6.3%）で5位となり信金でトップ。ついで「大阪信金」「北おおさか信金」が続いた。「北おおさか信金」は前回よりシェアを伸ばした。上位10行の顔ぶれは大手行4行、地方銀行3行、信用金庫3行の構成となり、前回と変化はなかった。上位10行のシェアは82.2%で0.1ポイント減少した。

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
1	三菱東京UFJ	18,849	18.6%
2	三井住友	18,702	18.4%
3	りそな	11,601	11.4%
4	近畿大阪	7,457	7.4%
5	大阪シティ信金	6,407	6.3%
6	みずほ	4,918	4.9%
7	池田泉州	4,749	4.7%
8	大阪信金	4,392	4.3%
9	北おおさか信金	3,408	3.4%
10	関西アーバン	2,825	2.8%
11	紀陽	2,245	2.2%
12	尼崎信金	1,735	1.7%
13	永和信金	912	0.9%
14	京都	752	0.7%
15	商工中金	670	0.7%
16	大阪商工信金	584	0.6%
17	枚方信金	571	0.6%
18	南都	524	0.5%
19	京都信金	429	0.4%
	大阪厚生信金	429	0.4%
21	阿波	375	0.4%
22	大正	314	0.3%
23	北陸	293	0.3%
24	みなと	249	0.2%
25	のぞみ信組	243	0.2%
26	近畿産業信組	229	0.2%
27	ゆうちょ	198	0.2%
28	成協信組	187	0.2%
29	第三	162	0.2%
30	百十四	137	0.1%
31	徳島	136	0.1%
32	香川	129	0.1%
33	大同信組	114	0.1%

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
34	滋賀	112	0.1%
35	伊予	92	0.1%
36	大阪協栄信組	77	0.1%
37	四国	76	0.1%
38	京都中央信金	72	0.1%
39	三井住友信託	68	0.1%
40	ミレ信組	57	0.1%
41	北国	52	0.1%
42	但馬	51	0.1%
43	愛媛	48	—
	大阪中河内農協	48	—
45	きのくに信金	47	—
46	名古屋	41	—
47	三菱UFJ信託	39	—
48	日本政策金融公庫	38	—
49	中国	36	—
50	いずみの農協	33	—
51	大阪泉州農協	30	—
	大阪南農協	30	—
53	福井	29	—
54	ジャパネット	27	—
55	高知	22	—
56	十六	21	—
57	大垣共立	20	—
58	大阪府医師信組	19	—
59	山陰合同	18	—
	大阪市農協	18	—
	山口	16	—
61	近畿労金	16	—
	北河内農協	16	—
64	楽天	15	—
	福邦	15	—
	中京	15	—

順位	金融機関名	社数	構成比(%)
67	広島	14	—
	十八	14	—
	SBJ	14	—
70	大阪北部農協	13	—
71	トマト	12	—
	播州信金	12	—
	大阪府信連	12	—
	茨木市農協	12	—
	日本政策投資	12	—
76	富山第一	11	—
	農林中金	11	—
	静岡	10	—
78	西日本シティ	10	—
	日新信金	10	—
	中央信組	10	—
	グリーン大阪農協	10	—
83	大分	9	—
	宮崎	9	—
	兆豊国際商業	9	—
86	百五	8	—
	ハナ	8	—
	大阪貯蓄信組	8	—
	高槻市農協	8	—
	堺市農協	8	—
91	福岡	7	—
	鹿児島	7	—
	みずほ信託	7	—
	新生	7	—
	印度	7	—
	神戸信金	7	—
	兵庫信金	7	—
	大阪東部農協	7	—
—	未詳	4,657	4.6%

参考資料

前回メインバンク調査（2014年12月発表）

順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	三菱東京UFJ	18,694	18.7%
2	三井住友	18,593	18.6%
3	りそな	11,380	11.4%
4	近畿大阪	7,325	7.3%
5	大阪シティ信金	6,294	6.3%
6	みずほ	4,912	4.9%
7	池田泉州	4,661	4.7%
8	大阪信金	4,273	4.3%
9	北おおさか信金	3,311	3.3%
10	関西アーバン	2,754	2.8%
11	紀陽	2,172	2.2%
12	尼崎信金	1,688	1.7%
13	永和信金	883	0.9%
14	京都	693	0.7%
15	商工中金	661	0.7%
16	大阪商工信金	558	0.6%
17	枚方信金	556	0.6%
18	南都	507	0.5%
19	京都信金	410	0.4%
20	大阪厚生信金	406	0.4%
21	阿波	363	0.4%
22	大正	314	0.3%
23	北陸	287	0.3%
24	みなと	256	0.3%
25	のぞみ信組	242	0.2%
26	近畿産業信組	221	0.2%
27	ゆうちょ	180	0.2%
28	成協信組	174	0.2%
29	第三	160	0.2%
30	百十四	138	0.1%
31	徳島	130	0.1%
32	香川	128	0.1%
33	大同信組	118	0.1%
34	滋賀	114	0.1%

順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
35	伊予	95	0.1%
36	大阪協栄信組	77	0.1%
37	四国	72	0.1%
38	三井住友信託	69	0.1%
39	京都中央信金	67	0.1%
40	但馬	55	0.1%
41	北国	53	0.1%
42	ミレ信組	51	0.1%
43	愛媛	50	0.1%
44	きのくに信金	48	—
	大阪中河内農協	48	—
46	名古屋	40	—
47	三菱UFJ信託	39	—
48	福井	34	—
	中国	34	—
50	いずみの農協	33	—
51	大阪泉州農協	32	—
	日本政策金融公庫	32	—
53	大阪南農協	31	—
54	ジャパンネット	27	—
55	十六	22	—
56	高知	21	—
57	大垣共立	20	—
58	山口	18	—
	大阪府医師信組	18	—
60	大阪市農協	17	—
61	中京	16	—
	北河内農協	16	—
63	十八	15	—
64	山陰合同	14	—
	広島	14	—
	福邦	14	—
	トマト	14	—
	近畿労金	14	—

順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
69	大阪北部農協	13	—
70	静岡	12	—
	SBJ	12	—
	中央信組	12	—
	大阪府信連	12	—
74	富山第一	11	—
	農林中金	11	—
	茨木市農協	11	—
	日本政策投資	11	—
78	大分	10	—
	西日本シティ	10	—
	グリーン大阪農協	10	—
81	印度	9	—
	兆豊国際商業	9	—
	播州信金	9	—
	日新信金	9	—
	労働金庫	9	—
86	横浜	8	—
	宮崎	8	—
	みずほ信託	8	—
	新生	8	—
90	楽天	7	—
	三重	7	—
	鹿児島	7	—
	韓国外換	7	—
	高槻市農協	7	—
95	百五	6	—
	愛知	6	—
	信金中央金庫	6	—
	姫路信金	6	—
	兵庫信金	6	—
	堺市農協	6	—
	未詳	4,603	4.6%

2. 地域別ランキング

地域別では、大阪府下を①大阪市内②大阪北③大阪東④大阪南の4ブロックに分別した。（注1）

①大阪市内地区

大阪市内地区に本社を置く企業のメインバンクを見てみると、上位20位までの顔ぶれに変化はなく、1位から15位までに順位の変動はなかった。1位「三菱東京UFJ銀行」と2位「三井住友銀行」、5位「みずほ銀行」などメガバンクがシェアを減らす一方、3位「りそな銀行」と4位「近畿大阪銀行」6位「大阪シティ信金」9位「北おおさか信金」はシェアを伸ばした。11位以降でも「大阪厚生信金」が順位をあげるなど、信金が存在感を見せた。

前回調査ではシェアを伸ばしたのはトップ19行（合併した北おおさか信金は除く）中1行だったのに対して、今回はシェアを伸ばしたのは20行中5行となり、りそなグループや地元信金にシェア拡大の動きが見られた。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三菱東京UFJ	11,495	22.4%
2	(2)	三井住友	10,844	21.1%
3	(3)	りそな	6,483	12.6%
4	(4)	近畿大阪	3,406	6.6%
5	(5)	みずほ	3,165	6.2%
6	(6)	大阪シティ信金	3,073	6.0%
7	(7)	大阪信金	1,838	3.6%
8	(8)	関西アーバン	1,351	2.6%
9	(9)	北おおさか信金	1,181	2.3%
10	(10)	池田泉州	980	1.9%
11	(11)	尼崎信金	872	1.7%
12	(12)	永和信金	616	1.2%
13	(13)	紀陽	323	0.6%
14	(14)	商工中金	317	0.6%
15	(15)	大阪商工信金	306	0.6%
16	(17)	大阪厚生信金	234	0.5%
17	(16)	阿波	230	0.4%
18	(18)	北陸	215	0.4%
19	(19)	みなと	200	0.4%
20	(20)	近畿産業信組	144	0.3%

②大阪北地区

大阪北地区に本社を置く企業のメインバンクを見てみると、1位は1,955社（構成比16.3%）で「三井住友銀行」、2位には大阪北地区に本店を構える「北おおさか信金」が1,873社（同15.6%）で2年連続2位。「三菱東京UFJ銀行」は1,817社で3位となった。

メガバンクのシェアが伸び悩むなか、「池田泉州銀行」「尼崎信金」「大阪信金」など地元金融機関がシェアを伸ばした。さらに京都銀行など京都の3金融機関が安定したシェアを確保した。1位から19位までは順位に変化はなかったものの、20位に「大正銀行」がランクインした。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三井住友	1,955	16.3%
2	(2)	北おおさか信金	1,873	15.6%
3	(3)	三菱東京UFJ	1,817	15.1%
4	(4)	りそな	1,244	10.4%
5	(5)	池田泉州	1,176	9.8%
6	(6)	近畿大阪	804	6.7%
7	(7)	みずほ	485	4.0%
8	(8)	尼崎信金	439	3.7%
9	(9)	関西アーバン	388	3.2%
10	(10)	京都	185	1.5%
11	(11)	大阪信金	166	1.4%
12	(12)	大阪シティ信金	114	0.9%
13	(13)	京都信金	85	0.7%
14	(14)	商工中金	52	0.4%
15	(15)	京都中央信金	34	0.3%
16	(16)	ゆうちょ	33	0.3%
17	(17)	みなと	31	0.3%
18	(18)	のぞみ信組	26	0.2%
19	(19)	滋賀	23	0.2%
20	—	大正	19	0.2%

③大阪東地区

大阪市内に続き企業数が多い大阪東地区に本社を置く企業のメインバンクを見てみると、1位は3,043社、構成比15.5%で「三菱東京UFJ銀行」、2位は2,875社、構成比14.7%で「三井住友銀行」が入り、メガバンクが安定した強さを見せた。3位の「大阪シティ信金」は前回調査からシェアを0.1ポイント上げた。13位まで前回と順位の変動はなかった。

また、「池田泉州銀行」「北おおさか信金」「京都信金」がシェアを0.1ポイント拡大した。「京都銀行」も前回より27行増でシェア0.2ポイントを拡大させた。また「大阪商工信金」は6社増でひとつ順位を上げた。上位20行の顔ぶれに変化はなかったものの、東大阪などを含む当地区は大阪でも有数の金融激戦区になっており、近畿圏外の金融機関が攻勢を強めている。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三菱東京UFJ	3,043	15.5%
2	(2)	三井住友	2,875	14.7%
3	(3)	大阪シティ信金	2,700	13.8%
4	(4)	近畿大阪	1,859	9.5%
5	(5)	りそな	1,801	9.2%
6	(6)	みずほ	888	4.5%
7	(7)	関西アーバン	743	3.8%
8	(8)	大阪信金	538	2.7%
9	(9)	枚方信金	507	2.6%
10	(10)	京都	442	2.3%
11	(11)	池田泉州	344	1.8%
12	(12)	北おおさか信金	335	1.7%
13	(13)	京都信金	327	1.7%
14	(15)	大阪商工信金	243	1.2%
15	(14)	永和信金	238	1.2%
16	(16)	南都	212	1.1%
17	(17)	紀陽	172	0.9%
18	(18)	尼崎信金	139	0.7%
19	(19)	大正	138	0.7%
20	(20)	商工中金	121	0.6%

④大阪南地区

大阪南地区に本社を置く企業のメインバンクを見てみると、前回に引き続き1位は「三井住友銀行」(2,964社、構成比16.4%)。2位は「三菱東京UFJ銀行」(2,448社、構成比13.6%)、3位は「池田泉州銀行」となった。上位3行ともシェア、社数ともに下げる結果となった。

上位陣がシェアを下げるなか、5位の「大阪信金」が2回連続でシェアを0.2ポイント増加させ、紀陽銀行も前回調査からシェアを0.1ポイント上げた。1から20位までの顔ぶれは前回調査から変わらなかった。

「第三銀行」、「徳島銀行」は唯一同地区で上位20位内に入っており、他地域の地方銀行が積極的にシェアを確保している。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三井住友	2,964	16.4%
2	(2)	三菱東京UFJ	2,448	13.6%
3	(3)	池田泉州	2,244	12.4%
4	(4)	りそな	2,032	11.3%
5	(5)	大阪信金	1,833	10.2%
6	(6)	紀陽	1,738	9.6%
7	(7)	近畿大阪	1,306	7.2%
8	(8)	大阪シティ信金	508	2.8%
9	(9)	みずほ	376	2.1%
10	(10)	関西アーバン	330	1.8%
11	(11)	尼崎信金	283	1.6%
12	(12)	商工中金	178	1.0%
13	(13)	南都	166	0.9%
14	(14)	成協信組	117	0.6%
15	(15)	阿波	74	0.4%
16	(16)	第三	62	0.3%
17	(17)	徳島	62	0.3%
18	(18)	大阪厚生信金	55	0.3%
19	(19)	ゆうちょ	52	0.3%
20	(20)	永和信金	50	0.3%

3. 業種別ランキング

①建設業

建設業のメインバンクを見てみると1位は「三井住友銀行」(4,077社、構成比17.1%)で1位。

2位の「三菱東京UFJ銀行」、3位は「りそな銀行」と大手銀行が上位を独占した。上位5行は順位を維持し、前回7位だった「大阪信金」が6位となり、ひとつ順位を上げた。シェアの増減はあるものの、上位10行すべてで社数を伸ばす結果となった。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三井住友	4,077	17.1%
2	(2)	三菱東京UFJ	3,690	15.5%
3	(3)	りそな	2,610	11.0%
4	(4)	近畿大阪	2,568	10.8%
5	(5)	大阪シティ信金	1,601	6.7%
6	(7)	大阪信金	1,458	6.1%
7	(6)	池田泉州	1,454	6.1%
8	(8)	北おおさか信金	1,382	5.8%
9	(9)	関西アーバン	1,002	4.2%
10	(10)	みずほ	703	3.0%

②製造業

製造業のメインバンクを見てみると「三菱東京UFJ銀行」が2,737社（構成比17.6%）で首位、2位は「三井住友銀行」となったが、ともにシェア、社数を減らす結果となった。上位2行がシェアを下げると一方で、8位の「池田泉州銀行」と10位の「紀陽銀行」は順位に変化はないものの、シェアおよび社数を伸ばし、地銀が勢いを見せた。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三菱東京UFJ	2,737	17.6%
2	(2)	三井住友	2,672	17.2%
3	(3)	大阪シティ信金	1,927	12.4%
4	(4)	りそな	1,597	10.3%
5	(5)	近畿大阪	1,039	6.7%
6	(6)	みずほ	869	5.6%
7	(7)	大阪信金	756	4.9%
8	(8)	池田泉州	676	4.4%
9	(9)	北おおさか信金	499	3.2%
10	(10)	紀陽	367	2.4%

③卸売業

卸売業のメインバンクを見てみると、「三菱東京UFJ銀行」が首位となり、1位から4位は前回同様、大手行が独占した。

メガバンクがシェアを落とすなか、6位「大阪シティ信金」、7位「池田泉州銀行」、8位「大阪信金」9位「北おおさか信金」が前回よりもシェアを伸ばし、大阪に地盤を持つ地域金融機関が積極的な姿勢を見せた。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三菱東京UFJ	4,530	23.0%
2	(2)	三井住友	3,932	20.0%
3	(3)	りそな	2,462	12.5%
4	(4)	みずほ	1,439	7.3%
5	(5)	近畿大阪	1,304	6.6%
6	(6)	大阪シティ信金	1,297	6.6%
7	(7)	池田泉州	769	3.9%
8	(8)	大阪信金	677	3.4%
9	(9)	北おおさか信金	426	2.2%
10	(10)	尼崎信金	357	1.8%

④小売業

小売業のメインバンクを見てみると、1位の「三菱東京UFJ銀行」は前回2位よりランクアップ、3社の差で「三井住友銀行」が2位となった。前回同様、3位は「りそな銀行」となったがシェアを落とす結果となった。

トップ10は前回と変化はなく、大手行と地元金融機関が強みを見せた。上位のシェアは伸び悩んだものの「紀陽銀行」が唯一シェアを上げる結果となった。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(2)	三菱東京UFJ	1,585	19.0%
2	(1)	三井住友	1,582	19.0%
3	(3)	りそな	913	11.0%
4	(4)	近畿大阪	722	8.7%
5	(5)	池田泉州	543	6.5%
6	(6)	みずほ	445	5.3%
7	(7)	大阪シティ信金	374	4.5%
8	(8)	大阪信金	357	4.3%
9	(9)	北おおさか信金	294	3.5%
10	(10)	紀陽	271	3.3%

⑤不動産業

不動産業のメインバンクを見てみると、1位の「三井住友銀行」は7年連続で首位。2位は「三菱東京UFJ銀行」でシェアを落とした。3位の「りそな銀行」は、順位こそ前回から変わらないものの、前回から55社増、0.4ポイントもシェアを伸ばした。

また、「関西アーバン銀行」が前回からひとつ順位を上げて4位。「大阪信金」も前回よりシェアを伸ばし、ひとつ順位を上げた。トップ10の全金融機関が社数を伸ばすなど、各行とも積極的な姿勢が見て取れた。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三井住友	1,493	18.2%
2	(2)	三菱東京UFJ	1,390	17.0%
3	(3)	りそな	875	10.7%
4	(5)	関西アーバン	482	5.9%
5	(4)	近畿大阪	476	5.8%
6	(6)	みずほ	356	4.4%
7	(8)	大阪信金	306	3.7%
8	(7)	池田泉州	301	3.7%
9	(9)	大阪シティ信金	294	3.6%
10	(10)	北おおさか信金	275	3.4%

⑥運輸・通信業

運輸・通信業のメインバンクを見てみると、トップ10の顔ぶれと順位に変化はなかったが、1位「三井住友銀行」2位「三菱東京UFJ銀行」7位「みずほ銀行」の3メガバンクはシェアを下げた。

上位のシェアが伸び悩むなか、5位「大阪シティ信金」9位「北おおさか信金」10位「商工中金」がシェアをそれぞれ0.1ポイント伸ばした。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三井住友	817	21.3%
2	(2)	三菱東京UFJ	676	17.6%
3	(3)	りそな	443	11.5%
4	(4)	近畿大阪	257	6.7%
5	(5)	大阪シティ信金	251	6.5%
6	(6)	大阪信金	213	5.5%
7	(7)	みずほ	185	4.8%
8	(8)	池田泉州	168	4.4%
9	(9)	北おおさか信金	122	3.2%
10	(10)	商工中金	102	2.7%

⑦サービス

サービス業のメインバンクを見てみると、トップ2行は順位をキープしたものの、シェアを下げ、3位は「りそな銀行」はシェアを0.2ポイント上げた。

9位の「北おおさか信金」は1つ順位を上げ、「池田泉州銀行」「大阪信金」は前回順位と変わらないものの、シェアを伸ばした。

順位	前回 順位	金融機関名	社数	構成比 (%)
1	(1)	三菱東京UFJ	4,069	19.1%
2	(2)	三井住友	3,982	18.7%
3	(3)	りそな	2,621	12.3%
4	(4)	近畿大阪	1,062	5.0%
5	(5)	みずほ	872	4.1%
6	(6)	池田泉州	807	3.8%
7	(7)	大阪シティ信金	647	3.0%
8	(8)	大阪信金	618	2.9%
9	(10)	北おおさか信金	403	1.9%
10	(9)	関西アーバン	400	1.9%

4. まとめ

調査開始以降、大阪府下におけるメガバンクのシェア低下と反比例するように、地方銀行や信用金庫などの地域金融機関の台頭が進んできた。今年もその傾向は変わらず、「近畿大阪銀行」や「北おおさか信金」がシェアを伸ばした。また、今回の調査では業種によっては各金融機関のシェアや社数の変動が多く見られ、金融機関の注力する業種が鮮明に表れていた。

一方で、近年大阪では他地域金融機関の進出が続いており、縮小するパイを奪い合う状態が続いている。この状況から企業への貸出金利の低下が進むと同時に、取引先の多行取引化が進んでいる。こうしたなか、9月には大正銀行とトモニホールディングスが株式交換契約締結。関東でも常陽銀行と足利銀行が手を組むことが発表され、地方銀行の金融再編は進んでいる。日本経済を支える中小企業が十分な活躍が出来るか否かは、メインバンクとの関係性にあるといっても過言ではなく、今後もその動向に注目が必要だろう。

(※注1)

大阪府下の地域別は、①大阪市内地区（大阪市内24区）②大阪北地区（豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、三島郡、豊能郡）③大阪東地区（守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市）④大阪南地区（堺市内7区、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、泉北郡、泉南郡、南河内郡）の4ブロックに分別。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 大阪支社 担当:白濱
TEL 06-6441-3100 FAX 06-6445-9532

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。